

障がい者相談支援にかかる今後の検討課題について（案）

1. 地域課題について（各区からの意見）

各区の地域自立支援協議会担当者からの聞き取りを行ったところ、主として以下の点が挙げられた。

- ・ 指定特定相談支援事業所の不足
- ・ 障がい福祉サービス事業所、従事者の不足
- ・ 指定特定相談支援事業所の質の確保・向上
- ・ 地域自立支援協議会の活性化
- ・ 精神障がい、発達障がいの増加への対応

2. 1. に対する当面の対応について（継続実施）

- ・ 相談支援事業所の増加に向けた取り組み
- ・ 相談支援専門員の養成にかかる支援
- ・ 地域自立支援協議会連絡会等を通じた支援
- ・ 国への要望 など

3. 地域課題について（全市的かつ長期的展望を見据えた整理が特に必要な課題）

- ・ 第4期障がい福祉計画の着実な推進（地域移行）

施設入所者や精神科病院長期入院者の高齢化や重症化が進んでいるため、医療的ケアなど専門的支援を含めた地域で支える仕組みの強化。加えて地域移行支援・地域定着支援のさらなる活用や充実も必要。

4. 3. に対する当面の対応について（案）

- ・ 障がい者等基礎調査を活用した実態の把握（計画・推進部会関連）
- ・ 地域移行推進のための課題の整理、明確化 など

が必要である。

平成28年度はこうした取り組みについて、市地域自立支援協議会へご報告のうえ、ご意見を頂きながら進めてまいりたい。